

○ 剣道

1 主 催：佐久地区剣道連盟

2 実施状況：

	日時	会場	参加者（名）	参加中学校
1	R6.9.29	県立武道館	21	浅間、中込、芦原、軽井沢
2	R6.10.20	野沢中学校	33	浅間、野沢、浅科、芦原、軽井沢
3	R6.11.16	県立武道館	27	浅間、野沢、浅科
4	R6.11.24	県立武道館	10	浅間、中込、芦原
5	R6.12.14	県立武道館	18	野沢、中込、芦原、軽井沢、屋代
6	R6.12.21	県立武道館	25	浅間、野沢、屋代
7	R6.12.28	県立武道館	17	浅間、野沢、浅科
8	R7.1.11	県立武道館	9	浅間、野沢、中込
9	R7.1.25	県立武道館	13	浅間、野沢、屋代
10	R7.2.15	県立武道館	24	浅間、野沢、浅科、芦原、屋代
11	R7.2.22	県立武道館	11	浅間、野沢、浅科、屋代
12	R7.3.1	県立武道館	3	浅科

3 課題等：

(1) 運営費について

- ・1回500円/1人として徴収をしているが、より少額に（できれば無料）としていきたい。
- ・スポンサー獲得やクラウドファンディングを利用して、運営費に充てることも検討している。
- ・会場使用料の負担が大きい。事前に人数が少ないと分かれば、利用面数を減らして費用を抑えられる。
- ・負担軽減のため、市からの補助については重ねて検討を願いたい。
- ・安定した運営のため参加人数を増やしたいので、市外の中学生の参加は今後も継続して促していく。

(2) 会場について

- ・会場については、佐久地区剣道連盟の方針として「県立武道館」を使用することとしており、今後も方針に基づいて県立武道館を使っていく。

・【県への要望】昨年12月3日に県観光スポーツ部スポーツ振興課管理係へ、県立武道館の利用料金の減免について、佐久市スポーツ課より要望。

➡ 地域移行では学校施設の利用が基本と考えており、県有施設の減免や優先予約への対応は難しい。県有施設では武道館を佐久市のスポーツ少年団が特例で減免されているのみ。地域移行が進めば学校施設は空いてくるはず。仮に減免対応するのであれば、県有施設全体で一律の対応となり、剣道以外の競技（卓球や柔道など）にも配慮が必要となる、との回答であった。

(3) 指導者の確保について

- ・指導者は毎回6名必要になるので、安定して確保していくことは課題。
- ・市の人材バンクには、連盟に登録のある約20名を引き継いで登録する予定。

(4) 大会への参加について

- ・令和7年度は地域クラブも団体戦に登録可能で、現状では1チームは出場予定（中込、南牧、軽井沢から各1名）。中学校か地域クラブかで混乱を生むかもしれないが、地域クラブからも出場できれば持続性は増す。

モデルケース等の状況について

○ バレーボール

1 主 催：佐久平バレーボール協会

2 実施状況：

	女子第1回	男子第1回
日 時	12月21日(土) 8:30~11:30	2月23日(日) 13:00~16:00
会 場	中込中学校 体育館	望月中学校 体育館
参 加 者	25名(中込中、臼田中、望月中)	31名(浅間中、中込中、望月中)
会 費	無料	無料
指 導 者	7名(協会5名)	7名(協会4名)
備 考	準備は会場校が実施	

3 課題等：

(1) 指導について

- ・佐久平バレーボール協会が中心となり指導、チームプレーではなく、技術力の向上を目的として行った。練習の意図や考え方について実技を交えて解説し、生徒の意識が変わるような指導を実施。
- ・効率を考えると、指導者だけでなく練習補助をする人も必要となってくる。
- ・単発での練習はできるが、継続的な実施となると、計画的な練習メニュー設定も必要になる。また、男子と女子でも練習(指導)方法は異なってくる。

(2) 会場について

- ・男子は3中学校、女子は全中学校にバレー部がある。参加校が増えた場合や新1年生が加入した際には、会場が手狭になってしまう。
- ・安定して会場を確保していくため、他の競技と調整が必要。

(3) その他

- ・ポジション別の練習や重点的な練習メニューなど、参加人数が多いためできることがある。
- ・練習方法や練習場所などは一律には決まっていない。柔軟に対応していく必要がある。
- ・平日を含めた完全移行の方針を打ち出している市町村が増えてきている。佐久市でも方向がはっきりしないと、どのように動いていくのか決められない。

4 合同練習の様子 ①12月21日



②2月23日



モデルケース等の状況について

○ ソフトテニス

1 主 催：佐久ソフトテニス連盟

2 実施状況：

	【女子】第1回	【女子】第2回
日 時	11月23日(土) 8:30~11:30	12月7日(土) 13:00~16:00
会 場	臼田テニスコート(臼田総合運動公園)	佐久総合体育館
参 加 者	約75名(浅間中、佐久東中、中込中、野沢中、佐久穂中)	48名(浅間中、中込中、佐久東中)
会 費	無料	無料
指 導 者	11名	5名(連盟4名)
備 考	想定される地域移行での生徒数は、男女各100名程度	

3 課題等：

(1) 費用について

- ・会場費、ボール代、保険料など、部活動に比べて負担は格段に増える。体育の授業で行わないので、学校の予算がつかず、現状でも非常に苦しい。何でも受益者負担、となれば相当反発が出ると予想される。
- ・合同練習では指導者が多く必要となり、それに伴って謝金も相応の金額が必要になる。

(2) 会場について

- ・夏場は学校でできるが、冬は室内中心となるので会場確保が困難。駒場公園テニスコートが毎回確保できれば最も都合が良い。市がイニシアティブをとり、各部に割り当てることができれば理想的。
- ・臼田テニスコートは面数が多いが、会場が遠く、冬期(12~3月)は使用できないなど、毎回の使用は困難。

(3) 指導者について

- ・お金がなく、生徒が毎回異なるなど課題が多い中で確保できるのか。連盟でも資格取得までする人は少ない。連盟は誰が指導できるのか一番知っているので、競技団体から派遣する、というのも手段の一つ。

(4) その他

- ・長野や松本では強いチームに人が集まっている。部活動かNACSかの選択が自由であれば、勝つためにNACSを選ぶケースが出てくる。連盟としては部活動に準じて、勝つことに重点を置くことは避けたい。
- ・100点満点の形で進めることはできないので、期限もあることから60点の形で進めていきたい。

4 合同練習の様子(11月23日)



各競技・活動の状況について

	剣道	バレーボール	ソフトテニス	バスケットボール	バドミントン	陸上	吹奏楽
団体名	佐久地区 剣道連盟	佐久平 バレーボール 協会	佐久ソフト テニス連盟	佐久バスケット ボール協会	オール佐久 (スポ少)	佐久ドリーム T&F	なし
部会	5回実施済 (R6.9月～ R7.3月)	R5から協会・学 校顧問・スポー ツ課による会議 実施。R6.7月は 保護者代表も交 えて説明会実施。 部会設置は次回 の会議から	1/29 (水) 打合 せ会議実施	未定	未定	未定	未定
実績	9月から毎月2～ 3回合同練習実 施中	12/21,2/23に合 同練習実施	11/23,12/7に合 同練習実施	協会の理事会で、 地域移行協議会 委員より状況説 明を数回実施 3/5に協会と学校 顧問・クラブ チーム代表者で 情報交換会実施	スポ少保護者 から意見を述 べる場が欲し いとの相談あ り	チーム代表者 から地域移行 に関する問い 合わせと協力 の申し出あり	・浅科、望月、 立科3校で合同 練習実施(2年 目) ・R6.12月に市 内7中学校の吹 奏楽部顧問と情 報交換
予定	4月から本格実 施、地域クラブ として大会参加 登録	合同練習の継続	合同練習の継続	未定	意見交換の場 の設定検討	地域クラブで の大会参加意 向あり	未定
課題	・予算面 ・武道館減免 ・指導者確保	・予算面 ・連絡方法 ・会計管理	・場所 ・指導者 ・保護者負担	・R9に競技環境 が大きく変わる ・人(部員・指 導者)、お金、 場所	・競技を統括 する団体なし ・日中の学校 施設が空いて いる時間の使 用希望あり	・競技を統括 する団体なし ・受入れ可能 だが、手続が わからない	・楽器の確保 ・楽器の運搬 ・練習会場 ・指導者確保

部活動地域移行中学校説明会における説明状況

学校教育課及びスポーツ課が下記のとおり学校へお伺いして、資料2-4に基づき

佐久市の部活動地域移行の現状について説明を行いました。

	学校名	月	日	曜日	配布部数 (参加者+教職員分)	参加者	説明者
1	浅間中	1	21	火	340	保護者	小林主幹指導主事
2	野沢中	2	7	金	180	児童+保護者	野沢中 塚田校長 (小林主幹指導主事)
3	中込中	2	7	金	160	児童+保護者	スポーツ課 大島、神津
4	東中	1	24	金	100	保護者 ※	菊池指導主事
5	臼田中	1	23	木	130	保護者	小林主幹指導主事
6	浅科中	1	23	木	100	保護者	菊池指導主事
7	望月中	1	21	火	200	(部活動運営委員会) 在校生保護者	スポーツ課 大島、神津
		1	24	金	80	新入生保護者のみ	スポーツ課 大島

※東中学校においては、新入生向けの説明資料のほか、10月に行われた

部活動運営委員会において出された質問に対する回答集（資料2-5）を全校配布

学校部活動は平日のみ、^{ナックス}休日は「新しい地域クラブ」(NACS)で活動

「学校部活動を地域へ移行する」という国全体の流れの中、佐久市では、部活動について子どもが自ら多様な形を「選択できる」環境を作っていきます。その中で、他校の生徒など「多様な人と関わる」ことができ、そして、「専門性の追求」もできるよう、「新しい地域クラブ」**NACS** ※の開設を順次行い、段階的に部活動の地域移行を進めていきます。まずは、休日について実施し、平日については状況をみながら、協議・検討していきます。

※「新しい地域クラブ」(NACS) New Area Club in Saku (仮称) : 地域の各種団体が運営するクラブで佐久市が認定したもの

これまで

これから

地域移行 3つのキーワード

①選択できる

②多様な人と関わる

③専門性の追求

例えばこんなイメージです

野球	野球	テニス	陸上	陸上	参加しない
学校部活動	NACS	学校部活動	NACS	学校部活動	NACS
競技力を高めたい!		違うスポーツもしたいな!		休日は別のことをしたい!	

- ・学校部活動や**NACS**は選択制であり、入ってもはいらなくてもOK。
 - ・**NACS**に入る場合、学校部活動と同じ活動でも、違う活動にトライすることも可能。
 - ・大会への参加は、参加者が「部活動」か「**NACS**」かを選択。
 - ・活動場所までの移動は、各自又は保護者送迎が原則。
 - ・活動に係る費用は、保護者負担が原則。
 - ・指導者は、NACS指導者人材バンク登録者※で、研修を受講した上で適切な指導を行う。
- ※佐久市教委が令和6年度中に開設し、登録者を募り運営団体に紹介する人材バンク

令和6(2024)年度

モデルケース(剣道、バレーボール)の移行を進めながら、様々な課題をクリアしていきます。

令和7(2025)年度以降

バスケットボール、サッカー、野球、卓球、ソフトテニス、柔道、陸上、水泳、マーチング、合唱、吹奏楽、美術、演劇、コンピュータ、料理などについて移行していきます。

佐久市は 学校部活動を 地域移行 していきます②

地域移行の気になることQ&A

Q1

部活動はすぐになくなってしまうのですか？

A1

すぐにはなくなりません。佐久市では、まずは「休日部活動」について、中学校からNACSに活動の場が変わっていきます。

Q2

休日部活動だけを地域移行するのですか？

A2

平日部活動について地域移行を行わない、ということではありません。休日部活動から地域移行を行い、状況を確認しながら平日について検討していきます。

Q3

活動場所はどこになるのですか？

A3

活動場所は、それぞれの活動によって異なります。通っている中学校や近隣中学校で行う場合、市や県の施設で行う場合もあります。また、毎回場所が変わることも考えられます。

Q4

どのような活動ができるのですか？

A4

これまでの部活動にある活動は基本的に地域に移行されていきます。また、今までの部活動になかった活動もできるようになっていく予定です。

Q5

費用や活動場所への移動はどうなるのですか？

A5

原則として、費用（会費）や移動（送迎）については、保護者の皆様にご負担いただく予定です。

Q6

誰が指導者になるのですか？

A6

NACSでは、地域の方が指導者となりますので、平日部活動とは指導者が異なります。なお、部活動の顧問の先生が引き続き指導する場合があります。NACS指導者人材バンクで募集します。

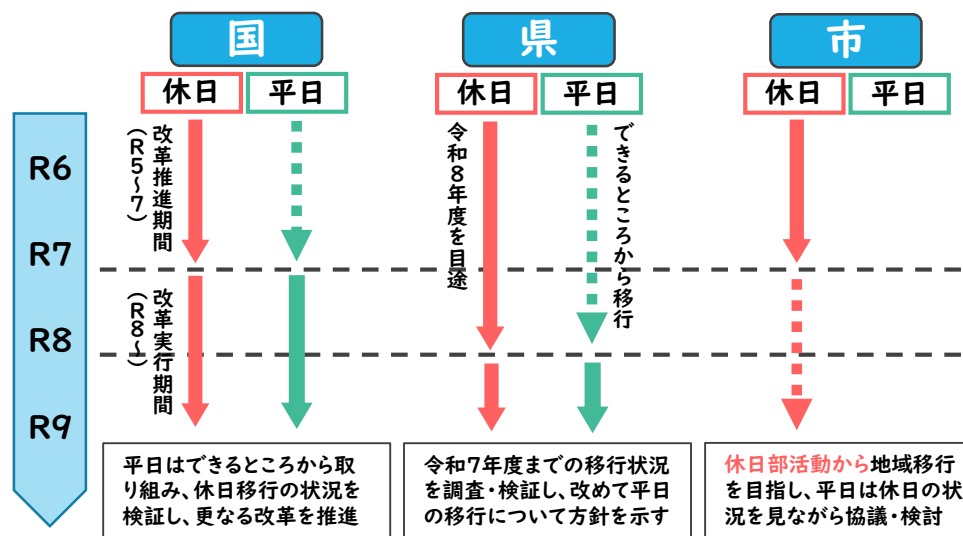
Q7

いつから休日部活動はNACSになるのですか？

A7

佐久市では令和7年度中の地域移行を目標とし、モデルケースの状況を参考としながら、他の活動については実情に応じて進めていきます。なお、国や県の動きについては下の図のとおりです。

国や県の動きについて



令和7年1月

佐久市教育委員会 スポーツ課・文化振興課

上記について、下表のとおりです。学校の先生方や地域の競技団体等の皆様、保護者の皆様のご理解・ご協力を賜りながら進めてまいりたいと考えております。

【地域移行全般について】

	質問	回答
1	学校との切り分けについて、整理が分からない。部活動と切り離してクラブとして活動していくということか。今のうちから、準備できること・やっておいた方が良いことがあれば教えてもらいたい。	【休日は学校部活動とは別の「新しい地域クラブ」による活動へ参加します】 学校部活動の地域移行について、佐久市教育委員会では、令和7年度末を目途に、学校では休日の部活動を行わず、新しい地域クラブ（文化・芸術・スポーツ団体等）が受け皿となり、子どもたちの休日活動をサポートする体制を整えることを目指しています。 なお、地域移行後の休日活動について「どのような活動に参加するか」は、生徒自身が考え選択することとなります。（学校部活動とは異なる種目を選択すること、あるいは参加しないことも選択肢のひとつです。）※P5～資料参照 一方、平日の部活動については、当面これまでどおり学校で行うこととします。 【保護者の皆様に準備いただくことは、今のところありません】 保護者の皆様に事前に準備していただくことはありませんが、子どもたちの休日活動を担う「地域クラブ」には、保護者や学校関係者の皆さんにも主体的に関わっていただきますよう、ご理解、ご協力をお願いします。
2	部活動は最終的にはなくなるのか。令和7年度以降の生徒は部活ではなくなるということだけでよいのか。部活動の意義や楽しむため、友達作りの場として気軽にできるものではなくなっていくのではないのか。	【まずは休日の活動について地域移行を進めます】 1の回答のとおりです。 現在、「剣道」「バレーボール」をモデルケースとして、地域移行を進めるにあたっての課題等を抽出するための活動を始めていただいております。 さらに、令和7年度中には、様々な種目（スポーツ、文化）への拡大を図るため各団体等との調整を進め、体制が整った種目から順次、地域移行を進めてまいります。 【部活動には大切な意義があるので、平日部活動の地域移行については慎重に検討します】 平日部活動の地域移行について、現時点では、佐久市教育委員会として決定していることはありません。 今後、非認知能力（がんばる力やコミュニケーション能力等）の育成など「学校部活動が持つ本来の意義」なども十分踏まえながら、その在り方について、関係者も交え、慎重に協議・検討を進めていきます。

	質問	回答
3	子どもはどのように参加するのかも不明。情報が錯そうしており、状況が分からない。	【できるところから順次ご案内していきます】 各校の部活動運営委員会等で市の方針について説明をさせていただいておりますが、今後も情報発信に努めていきます。現在、剣道・バレーボールがモデルケースとして試行的に活動を始めていますが、ほかの種目についてもできるところから活動を開始していきますので、それまではこれまでの学校部活動へご参加いただくようになります。
4	試合への引率と同じコーチだと結局負担が減らないのではないか。 指導者のみでは休日の練習試合の実施はできない。顧問の先生もいないと成り立たない状況である。	【負担を軽減できるようより良い方法を模索していきます】 休日の地域クラブと平日の学校部活動が並行して行われている期間においては、それぞれの地域クラブと学校が連携し協議を行う中でどのように練習試合を行うか、大会へ参加するか、ということを決めていくこととなります。顧問の先生方のご協力も必要なこともありますが、できる限り負担を減らせるよう努めます。
5	平日と休日の指導者が違うとひずみが出てくる。顧問は手を引いてしまってもよいのか。 連携はうまくいくのか。いつまでに完全実施となるのか。平日と休日が一体となって進まない運営が難しい部分もある。	【種目ごとの実情に応じて、できるところから休日部活動の地域移行を進めます】 市の方針では、休日と平日の指導者が異なる場合には、互いに連携を取り合い、指導方針に齟齬が出ないように努めるものとしております。 また、令和7年度末を目途に、休日部活動の地域移行完了を目指しており、現在先行して実施している「剣道」「バレーボール」のほか、受け入れ体制が整った種目から順次、休日部活動の地域移行を進めてまいります。平日部活動の地域移行について、現時点では、佐久市教育委員会として決定していることはありません。
6	休日から地域移行していくとのことだが、練習試合や大会にはどのような体制で出場することになるのか。休日のケガへの対応には、今の保険は使えなくなるのか。	【大会参加等はどうしていくか協議検討していきます】 4で回答のとおり、休日の地域クラブと平日の学校部活動が並行して行われている期間においては、それぞれの地域クラブと学校との協議により、どのように練習試合を行うか、大会へ参加するか、ということを決めていくこととなります。休日の地域クラブの活動におけるけがや事故については、学校部活動における保険の対象外になるので、地域クラブにおいて保険加入をすることになります。
7	施設使用料について、負担軽減のため部活扱いで減免にできないか。今は無料で使用できている。	【負担を軽減できるよう検討します】 学校施設については、現行どおり無償で利用いただくとともに、市の社会体育施設についても、地域クラブ活動については減免での対応を検討していきます。

	質問	回答
8	移動手段として、デマンドタクシーを使用することはできるのか。	【休日の活動のため利用ができません】 現在、市のデマンドタクシーは休日は運行しておりませんので、利用できません。移動については保護者の皆様による送迎をお願いします。

【競技・種目ごとの質問】

	質問	回答
1	バレーボールの会費は高いのではないかと。東中学校は浅間中学校と合同だと思いが、レベル差がかなりある。レベルを分けて実施してもらえるのか。	【会費の金額や、より良い練習方法を検討していきます】 バレーボールについては、佐久平バレーボール協会の皆さんが主体となって、試行的に活動を開始する中で、会費を含めた運営の方法や、レベルに応じた指導が可能か検討していくこととなります。現在、モデルケースとして先行実施している剣道においては、発展コースと充実コース、基礎コースの3コースを自分のレベルに応じて選べる体制を試行的に行っていますが、このようにレベルに応じた活動がクラブ内で、あるいは、複数のクラブで選べるような体制づくりができないか、会費とのバランスを含め、検討していきます。
2	バレーボールと剣道の会費（金額）について、高く思えるので内訳の説明を求めたい。	【会費の金額について検討していきます】 剣道とバレーボールについては、モデルケースとして試行的に先行実施しており、剣道は佐久地区剣道連盟、バレーボールは佐久平バレーボール協会の皆さんが中心となって合同練習を開始しています。それぞれ本年1月に行った保護者アンケートの結果を参考にするほか、練習会場や参加人数、回数などの見込を立てて会場使用料や指導者への交通費等の必要経費を積算し、会費を設定しております。これも現状では試行段階にあり、今後、試行を重ねる中で、本格実施に向けて会費を含めた運営方法など具体的に検討していくこととなります。なお、剣道においては、10月の第1回目の合同練習の際に、会費についての説明を行ったとお伺いしております。

	質問	回答
3	①女子テニスの指導をしているが、学校外ではテニスのできる施設が少ない。どこかに集まって実施する、となったら移動が負担になる。 ②何をやってもよく、何をやったらいけないのか。ゴールが明確にならないと動けない。 ③クラブチームと地域クラブは別ものという事でよいか。一緒のものだとすると目標も異なってくる。より高いレベルを目指しているクラブチームに対して、楽しくやりたい子への入口としての補助を行ってほしい。	【活動場所について協議・検討していきます】 ①、② ソフトテニスについては、11月23日に競技力向上と地域移行に向けた試行として、市内4校の女子ソフトテニス部が合同練習を行いました。顧問の先生と、市のソフトテニス連盟が連携し、12月7日に第2回目が行われています。1月には地域移行について、顧問の先生と連盟の皆様と市で協議する場を設けて、今後の進め方を検討していく予定です。その中でより良い方法を検討する予定です。 ③市の方針では、地域クラブ活動は、現行の部活動の基本方針（土日は長くとも3時間程度の活動とし、どちらか1日は休養日とする、など）に基づいて運営することとしております。また、生徒や指導者の負担にならないよう配慮するほか、体験型クラブや、競技力向上クラブなど、生徒自身が希望に応じて選択できる環境づくりを目指しています。現在、モデルケースとして先行実施している剣道においては、発展コースと充実コース、基礎コースの3コースを自分のレベルに応じて選べる体制を試行的に行っていますが、このようにレベルに応じた活動がクラブ内で、あるいは、複数のクラブで選べるような体制づくりができないかを含めて検討していきます。 活動への補助については、現在予定しておりませんが、国や県にも要望してまいります。
4	楽器の貸し出しは続けてもらえるのか。修理も継続してやってもらえるのか。	【より良い形を協議・検討していきます】 市の方針では、競技・種目ごとの部会で運営主体や活動方法について協議・検討を行い、地域クラブ活動を行っていくこととしております。吹奏楽についても、関係者により活動方法等について協議・検討を行っていきます。

部活動地域移行に関するお問い合わせ先 スポーツ課 62-4004 文化振興課 62-5535